

【資料 5】

国史跡青谷上寺地遺跡の追加指定について

文化審議会（宮田亮平会長）は、平成25年6月21日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、史跡名勝天然記念物の新指定16件、追加指定等24件、登録記念物の新登録13件、重要文化的景観の新選定3件、追加選定1件について、文部科学大臣に答申したが、追加指定等24件の中に、史跡青谷上寺地遺跡の追加指定370.24平方メートルが含まれており、平成25年10月17日付で官報告示された。

なお、文化庁の報道発表資料には、史跡青谷上寺地遺跡について次のように紹介されており、既指定分を含めた指定合計面積は、145,553.25平方メートルとなる。

「青谷上寺地遺跡（鳥取県鳥取市）」

鳥取県の東部、青谷平野の中央部に位置する弥生時代の集落跡。この遺跡を特徴づけるのは、豊富な遺物であり、鉄器、青銅器、木器、骨角器、獣骨等が大量に出土し、頭蓋骨のなかに脳が奇跡的に遺存していたことは大いに注目を集めた。当時の対外交流のあり方や社会の様相を知る上で貴重。

今回、条件が整った部分を追加指定する。 」

◎ 指定日及び指定面積

平成20年	3月28日	139,875.13平方メートル
平成22年	8月5日	3,217.88平方メートル
平成23年	9月21日	2,090.00平方メートル
平成25年	10月17日	370.24平方メートル
		合計145,553.25平方メートル

◎ 史跡の公有化等の状況

- ・市の公有化 21年度に鳥取市土地開発公社から41,831平方メートルを取得。
- ・県の公有化 25年度までに73,635.74平方メートルを買収済。来年度以降も用地買収を進めていく。
- ・その他史跡地内には市営住宅用地、県道用地等が含まれている。
- ・平成22年3月『国史跡青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画』を策定。